



# ときわまつ

新年あけまして

おめでとーございます。

本年もどうぞよろしく

お願い申し上げます。

常磐松小学校教職員一同

○新年に寄せて

校長 加藤 真寿美

能登半島地震、航空機事故と悲しい年明けに心が痛みます。ご冥福をお祈りいたしますとともに、被災された方々や関係される皆様の一日も早い安心・安全な生活を祈念いたします。

一月「睦月」には、皆が仲良く親しむ月という意味が込められているそうです。また、辰年は活力旺盛になって大きく成長し、形が整う年だと言われています。今年一年が充実した学校生活になるよう努めてまいります。

さて、久しぶりに子供たちの元気な声が学校に戻ってきました。今日から、後期後半の始まりです。校庭の桜の木をよく見てみると、小さな芽が膨らんでいるのが見えます。厳しい寒さが続いています。が、桜の木は、寒さに耐えながらも、来るべき春に向かって静かに花開く力をため込んでいるようです。早いもので子供たちも、あと三か月で、六年生は卒業そして進学、他の学年の子供たちは、次の学年への進級を控えています。一年間を通してみれば、これからの三か月は、培った力を発揮して次へのステップを踏んでいく時期でもあります。校庭の桜の芽のように、力を蓄えて、子供たち一人一人の芽が少しずつ膨らんでいくように、そして迎える春に、それぞれの希望の花が開くように支援していきます。

学校も子供たちと同じように、次の春（令和六年度）に向けて、新たな気持ちで準備を進めてまいります。昨年十二月に実施しまし

た学校評価アンケートへの御協力、ありがとうございました。学校の自己評価と合わせて、次年度に向けて芽を大きく膨らませていけるよう活用させていただきます。結果につきましては、分析等をしっかり行い二月に御報告させていただきます。予定です。

○豊かな心を育む

一月十九日（金）に常磐松小学校は、渋谷区内の先生方に向けて、道徳科の研究発表会を行います。渋谷区教育委員会の令和四年度・五年度の研究指定校を受け、二年間の研究成果を発表します。

研究主題は、

「豊かな心の育成・相互理解  
〜道徳科の話合い活動を通して〜」  
です。

道徳科の話合い活動を充実させることで、互いの思いや考えを受け止め・受け入れ、その積み重ねにより、道徳的価値観を育み、互いを理解し合うことや思いやりある豊かな心が育まれることを期待し、研究を進めてきました。小規模校・単学級である本校では、他者とのかわりの中で、多様な考え方に触れる機会を授業の中に計画的に設定をすることも重要になります。

また、相互理解には協働的な学びが不可欠です。協働的な学びを進めるにあたっては、渋谷区の推進している「C」を活用しながら手だてを講じてきました。「C」の活用により、情報共有がスムーズに行われ、多様な視点で意見が交わされる環境を実現することができました。道徳科の話合い活動がより効果的に展開され、相互理解につながっていることを実感しているところです。

当日は、全ての学級で授業を公開します。子どもたちの活躍する場を渋谷区の先生方にお見せできればと思っています。保護者・地域の方への授業公開ではないため、当日の様子については別の機会に御紹介できればと考えています。

当日は、たくさんの方の来校者が予想されるため、PTAのお手伝いをお願いしています。どうぞよろしくお願いたします。

【研究発表の御案内】

<https://shibuyaschoolwebne.jp/wedlog/files/1310238/doc/89718/581109.pdf>

今年も、保護者、地域、関係の皆様のお力添えをいただきながら、教職員一同一丸となって、より良い学校づくりに邁進してまいります。変わらぬ御理解と御協力のほど、よろしくお願ひ申し上げます。

## 赤い羽根募金活動

十二月十一日(月)～十五日(金)

本校では、毎年代表委員会が企画し、募金活動を行っています。今年度は、話し合いの結果、「赤い羽根募金活動」を行うことにしました。議事運営委員の児童が、事前にポスターを作成したり、パワーポイントで活動の目的を説明したりして、全校に協力を呼びかけました。募金をして赤い羽根をもらった児童は、早速校帽に付けて嬉しそうにしていました。

また、通りかかった地域の方や保護者の方も募金に御協力くださいました。集まったお金は、子育て支援や高齢者の配食支援、地域の見守りパトロールなど、この町のために使われます。



## 四・五年 箏の学習

十二月十九日(火)

音楽の授業では、全学年で日本の音楽についても学習します。今回は、四年生と五年生が箏の体験学習を行いました。箏の各部分は竜になぞらえて名前が付けられており、神聖な動物である竜と同じように大切にされてきた歴史について知った後は、実際に爪をはめて、弦を一本ずつ鳴らしてみました。

そして、徐々にコツをつかみ、授業の最後には、ほとんどの児童が「さくらさくら」を一曲通して弾けるようになりました。本物の音色に触れ実際に演奏した経験が、日本の音楽に興味をもつきっかけになればよいと思います。



## 五年 社会科見学

十二月二十一日(木)

五年生の社会科見学では、東京港野鳥公園と、川崎市のJFEスチール製鉄工場へ行きました。

野鳥公園では珍しい野鳥の様子を観察したり、東京の埋め立ての歴史や環境問題について調べたりしました。

JFEスチール製鉄工場では、製鉄の流れや原料の輸入と加工後の輸出の状況について学習しました。鉄の加工場所では、目の前で20メートル近い鉄の板が高温で加工されている様子を見学しました。いずれも充実した見学になりました。



## 【校内書き初め展】

今年度の校内書き初め展の予定をお知らせいたします。一月十九日に渋谷区教育委員会研究指定校としての発表会があるため、今年度は、次の期間を保護者鑑賞日といたします。

一月二十二日(月)～  
一月三十一日(水)まで

### ◇鑑賞時間

○平日：午後六時まで

### ※名札を着用

○土曜日(二十七日)：午前九時～午後四時まで

※書き初め展の期間の土・日は学校がお休みとなりますが、土曜日のみ鑑賞は可能です。また、対応する職員が少ないので、**名札の着用・受付での記名や下校時刻の記入等、御協力をよろしく**お願いします。



## いじめの相談窓口について②

学校生活のことで、気になっていることや、困っていることの相談窓口を御紹介いたします。

### 【特別支援教育コーディネーター】

お子さんに応じた支援を保護者の方と共に考え、支援の計画などを提案いたします。例えば、「いつも同じ場面や同じ友達と同じような内容でトラブルになる」といったコミュニケーションのお悩みなどがありましたら御相談ください。

### 【スクールカウンセラー】

臨床心理士の資格をもっている、心の相談専門家です。成長や思春期の悩み、人間関係の悩みなどがありましたら、御相談ください。保護者の方だけでなく、児童本人からの相談も受けます。来校日は、学校だよりの行事予定に記載しておりますので、事前に予約をして利用をお願いいたします。

### 【スクールソーシャルワーカー】

スクールソーシャルワーカーは区の福祉専門職員です。特に生活上の悩みや子育ての悩みなどに精通しています。例えば、いじめや不登校などの問題を抱えているが、お仕事や御家族の御事情で、保護者の方一人ではすぐに対応できないときに、保護者の方や御家族の環境面のフォローも含めて相談することができ、教育センターで勤務していますが、予約することで、学校での相談もできます。

また、相談の内容によっては、学校への相談がためられることもあります。その際は、「**教育相談一般・いじめ相談ホットライン**」もあります。24時間、365日受付をしております。

いじめなどのトラブルは、学校だけの取組では解決に向かいません。地域・保護者の皆様からの協力が必要になります。気になること、困ったことがありますしたら、いつでも御相談ください。

## ■一月の生活目標■

正しい言葉をつかおう

### ■すこやか目標■

なぜやインフルエンザを

ふせよう

近年、子供に言葉の力がなくなつたと言われることも多く、そのことで考える力が少なくなっているとも言われています。その原因として…核家族で地域とのかわり減少し家庭では単語による会話しかない。何も言わなくても物が買える便利な世の中になった。経験が、ゲームや消費などに偏りがある…など子供が育つ環境の変化が挙げられています。

本校の子供たちの会話の中にも、相手に対して思いやりに欠ける言葉をつかっている様子が見られることがあります。学校では、言葉は人によって感じ方や受け取り方が違うことを子供たち自身が気付く、適切な言葉をつかえるよう、言葉のもつ力や言葉による暴力・いじめについても、改めて考える機会が増やせるよう努めてまいります。

最後に、例年この季節は、風邪やインフルエンザのウイルスも活発になります。体調管理に努め、病気の予防をお願いいたします。

## 特別支援教室「ゆずりは」

### ◆感情のコントロール◆

自分の感情を認識し、言葉にすることは人間関係を築く上でも重要なスキルです。ゆずりは教室では、自分の気持ちを客観的に理解し、対処するスキルを身に付ける学習を行っています。今回は二つの学習を紹介します。

#### 怒りスイッチを探せ

怒りが起こりそうな場面のカードを見せ自分の怒りの程度を①～⑩の『温度計』で相手に知らせます。なぜその温度を選んだのか説明し合って、同じできごとでも人によって怒りの温度が違うことや上手な怒り方に気付いてもらいます。



#### 勝ち負けのあるゲーム

どんなに激しい怒りでも、感情のピークは六秒だと言われています。この六秒をかせぐ方法を、協力型で行う『チャレンジエッグ』や『イチゴリラ』、一対一で行う『ナンジャモンジャ』や『オバケキャッチ』などのゲームで試してみます。また、『めんこ』を作り、事前に「勝つても負けても…」と、自分のめあてを決めてから試合をすることもあります。

このような活動を通して、少しずつ感情をコントロールする力を育てています。

直通電話〇三三三〇四八六・五一〇八

ゆずりは教室 担任 門田 香織里

